



住吉教会 2016 年度テーマ

「いつくしみ深く 御父のように」

—いつくしみの特別聖年—

いつくしみのわざ

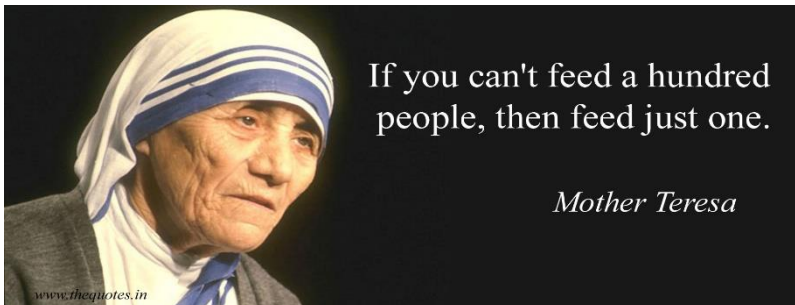
ブラッドリー ロザイロ神父

教皇フランシスコがいつも語っておられることに「無関心を乗り越えよう」ということがあります。神に対する無関心もあれば、人に対する無関心もあると思います。四旬節にあたり、特に隣人に対する無関心を黙想し、積極的な愛の行動を示すことができたと思います。

いつくしみの特別聖年公布の大勅書（『イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔』15）

教皇フランシスコ：わたしの心からの願いは、この大聖年の間にキリスト者が、身体的な慈善のわざと精神的な慈善のわざについてじっくりと考えてくださることです。

- 身体的な慈善のわざ：飢えている人に食べさせること、渴いている人に飲み物を与えること、着る物をもたない人に衣服を与えること、宿のない人に宿を提供すること、病者を訪問すること、受刑者を訪問すること、死者を埋葬すること。
- 精神的な慈善のわざ：疑いを抱いている人に助言すること、無知な人を教えること、罪人を戒めること、悲嘆に打ちひしがれている人を慰めること、もろもろの侮辱をゆるすこと、煩わしい人を辛抱強く耐え忍ぶこと、生者と死者のために神に祈ること。



「100 人に食べ物を与えることができなくても、1 人なら出来るでしょ？」

わたしたちがこの四旬節をとおして、新たな思いで、隣人とのつながりを味わうことができますように。

2016年2月度評議会議事録

1. 日時:2016年2月7日(日) 11:30~14:40、場所:住吉教会1階第2会議室

2. 始めの祈り

3. ブラッドリー神父メッセージ

前田万葉大司教メッセージ読み合わせ、分かち合い(カトリック時報1月号)

フランシスコ教皇大勅書を読む

新生計画5つの教会像

① 谷間に置かれた人々の心を生きる。 ② 交わりの教会

③ 共同責任を担い合う ④ 祈りかつ働く

⑤ 司祭・修道者との協力を重視しながら、信徒の役割と責任(使命)を前面に出す教会となる。

教区レベルで: 貧困に悩まされている子供たちのために子供の食堂を作ることを支援。

小教区レベル: 小さなことから始めて行く。

☆炊き出し: いつも同じ参加者、少数。どうしたらいろいろな人々が参加してくれるのか。

教区新生—神戸社会活動センターの事業展開—炊き出し—震災後みんな一生懸命働いた。

おじさんたちと小野浜でおしゃべりしながら、豚汁を作り、配膳する。

中高生の炊き出し参加を検討する。大人のメンバーを1人2人でも増やす。

・“出向いて行く”: キリスト者として派遣されて行く。キリストの使命＝祈りと活動(行動を起こす)

・いつくしみの特別聖年の巡礼: 開かれた門 カテドラル、高槻教会(右近)、仁豊野ヴィラ訪問

4月2日・3日 子供たちのサムエルナイト: 高槻教会訪問—高山右近の霊性に学ぶ。

昨年教会学校遠足: 芦屋教会訪問—高山右近の人形劇を観る。

・お祈り。

・巡礼に行く前に いつくしみの特別聖年の教皇勅書1から5まで読む。時報12月号を読む。

免償のことを学ぶ。1月31日付けカトリック新聞4ページ: 免償を得るための規定

・チームの統合: 動きやすくする。信徒の役割・使命。

・司祭の減少—通夜を信徒(集会祭儀司式者)が担当(西ブロックでは実施中)

星の園幼稚園連絡・協議事項

3月16日(水)10:00 星の園幼稚園卒園式

共同祈願: 教員、保護者、園児、教会役員

4月12日(火) 星の園幼稚園始園式

4月13日(水)10:00 星の園幼稚園入園式

2歳児登校:教会側の階段、渡り廊下を使用することについて、評議会決定、司祭承認。
セキリュティをしっかりと確保。幼稚園で戸締り。

4. 議事 I 日程確認

3月 6日(日) 9:30 四旬節黙想会(講話と黙想)、ミサ、赦しの秘跡

3月13日(日) 9:30 神学生祭壇奉仕者(3年生)任命式

(上田神学生、エリック神学生)

藤井寺教会ミサ(前田万葉大司教司式)

3月19日(土) 14:00 教区叙階式(カテドラル、前田万葉大司教司式)

司祭叙階:チェ・スヨン助祭、クラレチアン会 増田助祭

助祭叙階:豊田神学生

3月20日(日) 9:30 ミサ、受難の主日(枝の主日)

3月23日(水) 11:00 教区聖香油ミサ、司祭金祝・銀祝

金祝(叙階50周年):神林神父、村田神父、和田神父、コロンバン会 カレル神父

銀祝(叙階25周年)は該当者なし

3月24日(木) 19:00 聖木曜日ミサ、主の晩さん

3月25日(金) 19:00 聖金曜日、主の受難

3月26日(土) 19:00 聖土曜日ミサ、復活徹夜祭、洗礼式

3月27日(日) 9:30 復活の主日ミサ、初聖体、お祝い会

4月 3日(日) 14:00 神戸地区宣教司牧評議会(兵庫教会)

5.

II 審議事項

(1) チーム代表改選:①典礼チーム(現 MH氏、新 AK氏)

評議会決定、司祭承認。なお、プロジェクター担当は複数名とする。

(2) 聖体奉仕者(候補) 選任について KN氏(評議会推薦)

評議会決定、司祭承認。聖体奉仕者研修会受講後、任命書交付後から。

(3) 2016年度予算(案)(チーム活動計画案含む)

評議会決定、司祭承認。

(4) 住吉教会年間行事計画(案):評議会決定、司祭承認。(一部補正)

III 検討事項

(1) 祭具等必要物品の購入で高価なものは評議会決定、司祭承認必要。補正予算を組む。

(2) 上記の主なもの

ア クリスマスの馬小屋 博士の不在:揃ったものを購入、見積り中。

イ 香部屋 CD デッキの取り替え:評議会決定、司祭承認。

ウ 教会インターネット、電話、FAX等:現在 ADSL(非常に速度遅い)⇒NTT フレッツ光導入。

評議会決定、司祭承認。

- (3) 神戸地区養成委員会報告：外国語の黙想会・ミサ案内リーフレットの活用
(4) ふっこのかけ橋2016：8月5日～7日、キャンプと宿泊（たかとり、住吉が候補）

評議会決定、司祭承認。

- (5) 「聖書と典礼」の活用

判りやすい場所に置き、事前に持ち帰り出来るようにする。責任を持って必ずミサに持参すること
たかとり教会の例に倣い、1ヶ月分をホッチキスし事前配布することについてはもう少し皆様の意見
をお聞きしてから検討することとします。

- (6) 四旬節黙想会について（指導司祭 ブラッドリー神父）

3月6日（日） テーマ“出会いの救い”（ルカ福音書19章1～10節）

事前に聖書箇所を目を通し、当日 聖書を持参してください。

<u>当日の日程</u>	<u>9:30 ～10:30 講話と黙想</u>
	<u>10:30 ～10:45 分かち合い</u>
	<u>10:45 休憩</u>
	<u>11:00 ミサ</u>
	<u>12:00 昼食（各自でご用意ください）</u>
	<u>13:00 ゆるしの秘跡</u>

- (7) 四旬節に入りました。

ミサ前の沈黙：小教区全体で十字架の道行き。ホールでおしゃべりは慎む（音が響きます）

火、金の平日ミサ（現在10名位参加）：祝祭日は率先して参加しましょう。

四旬節教皇メッセージの分かち合い

- (8) シナピスポスターの掲示：玄関の社会活動コーナー「なぜ教会は社会活動に関わるのか」

署名協力等については、各自でご判断ください。

6、終わりの祈り

☆次回評議会 4月17日（日）小教区総会終了後

四旬節愛の献金について

2月10日の灰の水曜日から四旬節に入りました。この期間、回心を願い愛の
わざに励む具体的な印として、日本の教会は毎年、「**四旬節愛の献金**」に取り組ん
でいます。専用の緑色の献金袋で献金にご協力下さいますようお願い致します。
ミサの中で廻って来る献金籠に入れていただければ幸いです。

なお、この献金は大阪教区経由でカリタスジャパンに送金され、国内・海外の
援助活動事業に使われます。

聖週間について

典礼チーム

教会の典礼の中でもっとも大切なご復活の日を迎える前の聖週間の今年の日程は以下の通りです。

(1) 3月20日(日) 受難の主日〔枝の主日〕 9時半

この日は主キリストのエルサレム入城と受難という、二つの出来事を記念します。私たちはシュロの枝を持って聖堂の入口に集まり、枝の祝福を受けてから福音の朗読を聞いて、司祭と奉仕者に続いて聖堂に入ります。ミサの中では、第1、第2朗読の後で役割を分担して、キリストの受難の朗読があります。今年はC年にあたるためルカ福音書から読まれます。

(2) 3月24日(木) 聖木曜日 19時 主の晩さんの夕べのミサ

キリストが聖体を制定し、ご自分の記念として行うように命じた“最後の晩さん”を記念します。またキリストが弟子の足を洗った出来事になって、司祭が数人の信者の足を洗う洗足式も行われます。拝領祈願の後、御聖体は別の安置所に移されます。祭壇上のものはすべて取り除かれ、キリストの受難と死が始まったことを表します。私たちは仮安置所の御聖体の前で祈ります。

(3) 3月25日(金) 聖金曜日 19時 主の受難

この日はキリストの受難と死の意義を思い起こして断食し、また救いへの過越の途上なのでミサはありません。聖堂に集まって、「ことばの典礼」で第1第2朗読の後で役割分担をしたヨハネによる受難の朗読を聞きます。司式司祭による盛式共同祈願ののち「十字架の礼拝」がおこなわれ、「交わりの儀」の中であらかじめ聖別された御聖体をいただきます。

(4) 3月26日(土) 復活徹夜祭 19時 復活の聖なる徹夜祭

本来はキリストの復活を記念し徹夜の典礼でしたが、住吉教会では夜の7時から行われており典礼は「光の祭儀」「ことばの典礼」「洗礼と堅信」「感謝の典礼」の4部で構成されています。

- ①「光の祭儀」聖堂の外で祝福された火が復活のろうそくにともされ、皆で「キリストの光」・「神に感謝」と歌いながら、列になって真っ暗な聖堂に入ります。その後復活のろうそくから各々のろうそくに火がともされ、“復活賛歌”が歌われます。
- ②「ことばの典礼」照明をつけろうそくを消した後、旧約聖書が読まれます。全部で七つありますが、当教会では第1朗読（創世記）、第3朗読（出エジプト記）、第7朗読（エゼキエルの預言）が読まれ、それぞれ答唱詩編と祈願がつきます。その後祭壇のろうそくに火がともされ、“栄光の賛歌”を歌い、“使徒パウロのローマの教会への手紙”、アレルヤ唱、福音朗読と続きます。
- ③「洗礼と堅信」この徹夜祭は初代より洗礼式にもっともふさわしい時と考えられてきました。すでに信者である私たちは、各自の洗礼を思い起こし、神の子として生きる決意を新たにします。
- ④「感謝の典礼」ここからはいつもの主日のミサと同じように行われます。

(5) 3月27日(日) 9時半 復活の主日〔日中のミサ〕

この日はアレルヤ唱の前に“復活の続唱”を歌います。このミサの中で受洗なさる方、初聖体のお恵みをいただく方があり、皆で喜びを分かち合います。